



2024(令和6)年5月1日 第8号
 名古屋市保健所
 感染症対策・調査センター
 〒463-8585
 名古屋市守山区桜坂四丁目207番地
 電話 737-3712 FAX 736-1102
 Mail a7373711-07@kenkofukushi.city.nagoya.lg.jp

感染症対策・調査センターの調査業務について

感染症対策・調査センターでは、感染症に関するさまざまな業務を行っていますが、その中の一つとして、私たちに病気を媒介したり危害を加えたりする衛生害虫等の調査を行っています。今号では、昨年度実施した蚊、マダニ及びスズメバチの生息調査結果の一部とこれから活動を始めるスズメバチの生態についてご紹介します。

蚊の生息調査

5月から11月に週1回蚊成虫の生息調査（8分間人おとり法）を市内2地点（1地点あたり4調査ポイント）で実施しました。結果は下表のとおりで、生息のピークは9月でした。秋に高温傾向が続いたこともあり、11月にも多数の蚊が活動していました。

表 ヒトスジシマカ（メス）の捕獲数

調査月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
捕獲数*	1.7	4.5	7.0	20.3	27.9	21.0	7.7

※ 1地点（4調査ポイント）あたりの週平均捕獲数



8分間人おとり法

吸血のため人に寄ってくる蚊を捕虫網で捕獲します。

マダニの生息調査

月1回マダニの生息調査（旗ずり法）を市内5地点で実施しました。結果は下表のとおりで、年間を通してマダニが捕獲されました。タカサゴキララマダニやヤマアラシチマダニなどの重症熱性血小板減少症候群や日本紅斑熱を媒介するといわれるマダニも捕獲されています。マダニは野生生物が生息している場所に多く見つかります。野山で活動するときはマダニに刺されないように注意しましょう。

昨年度初めて捕獲された
ヒトツトゲマダニ
(体長約3mm)



旗ずり法

落葉の下や葉裏に潜んでいるマダニを布で捕獲します。

表 マダニ種ごとの捕獲数（成虫・若虫・幼虫の総計）

種類	調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
タカサゴキララマダニ		4	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
キチマダニ		26	10	11	17	92	0	40	45	21	19	64	37	382
ヤマアラシチマダニ		14	13	21	16	211	31	13	0	0	0	0	1	320
アカコココマダニ		49	22	2	0	0	0	1	85	81	130	135	143	648
その他*		8	2	6	5	1	3	2	2	2	2	1	1	35

※ タカサゴチマダニ、フタトゲチマダニ、オオトゲチマダニ及びヒトツトゲマダニ



スズメバチの生息調査

4月から11月に週1回スズメバチの生息調査（誘引トラップ法）を市内3地点（1地点あたり2調査ポイント）で実施しました。結果は下表のとおりで、8月から10月にかけてオオスズメバチの捕獲数が増加しました。種によって少し異なりますが、6月の初めごろまでは女王バチが捕獲され、それ以降は働きバチが捕獲されました。

表 スズメバチ種ごとの捕獲数※（女王バチ・働きバチ・オスバチの総計）

種類	調査月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
コガタスズメバチ		1.2	0.8	7.3	3.3	8.0	1.3	2.1	0.8
オオスズメバチ		0.6	2.9	2.3	6.1	29.9	53.2	28.4	7.0
モンスズメバチ		0.4	0.5	1.4	1.9	5.8	13.1	3.3	0.2
その他		0.1	0.2	2.8	1.7	6.1	3.2	1.6	0.9

※ 1地点（2調査ポイント）あたりの週平均捕獲数



誘引トラップ法

誘引液を入れたファネルトラップを樹木に設置してスズメバチを捕獲します。



捕獲されたスズメバチ



スズメバチが活動を始める季節です

市内の住宅地では、オオスズメバチではなくコガタスズメバチの営巣がよくみられます。コガタスズメバチは5月ごろから巣を作り始めます。巣が大きくなる8月から10月ごろには働きバチの数も増えて活動も活発になり、私たちの刺傷被害も多くなります。巣は12月頃には空になり、翌年再利用されることはありません。

コガタスズメバチの1年

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
越冬中	女王バチが巣作りの準備を始める	女王バチが一匹で巣作りと産卵子育てをする	女王バチが羽化し始める	働きバチが羽化し始める	巣の防衛本能が強くなり、巣に近づく人を攻撃する	働きバチがどんどん羽化し、巣が大きくなる	新女王バチとオスバチが交尾する	新女王バチのみ越冬する	巣の中のハチは死んで次第に空になる

木の枝や軒下によく巣を作ります。



巣が大きくなってからの除去はととても危険です。巣の除去が必要な場合は必ず専門業者に依頼しましょう。



スズメバチに刺されないために

- ★ 巣に近づきすぎたり、巣を刺激したりしない
- ★ 5月・6月ごろに軒下や庭に巣ができていないかチェックする
- ★ 庭で剪定等するときは、事前に巣ができていないか確かめる
- ★ スズメバチは黒い色や香水等の強いにおいに敏感なため、野外で活動するときは服装等に気をつける

注意



過去の「たより」もこちらから。



『感染症対策・調査センターだより』は名古屋公式ウェブサイトでもご覧いただけます。「感染症対策・調査センター」で検索していただくか、右のQRコードをご利用ください。